

STORY

東京生まれ東京育ちのみさきは設計事務所で働いている。
 そこそこの名が知れた若手建築家の下で
 夜遅くまで仕事をこなす毎日だ。
 今の仕事もそれなりに充実しているし
 東京での暮らしにも満足している。
 でも、何か足りない気も…

学生時代に仲良くしてくれていたあずさ先輩は
 地元の福島・国見町に帰って
 実家の設計事務所を継ぐ選択をした。

あずさ先輩の暮らしが気になったみさきは
 仕事の合間を縫って国見町に行くことにする。

最初は町の名すら覚えていなかったみさきだが
 3日間国見町で過ごし
 国見町の暮らしや人の温かさに触れたことで
 もうひとつの自分の居場所のように感じていく。



未来に残したい町の魅力を発信

国見町PR動画「ふたつの空と」を作成

テレワーク等により『場所を問わない働き方』が普及し、
 都会から地方へ移住して活躍している人が増えています。

町では、都会から地方へ活動の拠点を移す人々をテーマ
 とし、これからの時代で様々なかたちに対応していく人々の
 姿を地域の皆さんとともに映像に残し、町をPRする動画を
 作成しました。

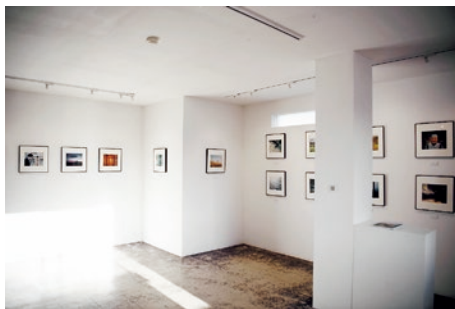
温かみのある人々が暮らし、豊かな自然に囲まれたステキな国見町が、新進気鋭
 の撮影陣により9分間の物語としてまとめられています。YouTubeで配信している
 ほか、本PR動画専用のホームページも開設しています。美しい映像と音楽で表現
 された国見町を、みなさんもぜひご覧ください。

※「ふたつの空と」で検索、またはQRコードから閲覧できます。



ふたつの空と

写真展「見霧かす展」が開催されました



4月24日から30日まで、福島市のニューヤブウチビル
 で写真展「見霧かす展」が開催されました。

この写真展では、PR動画の撮影陣が町の日常風景や出演
 者の自然な表情など、撮影中のふとした瞬間を美しく表現し、
 写真に収めたものが多数展示されました。

また、町のPR動画の上映会も併せて行われ、県内外から
 多くの来場者が訪れ、美しい町の魅力を体感していました。

青空に映える紫の滝

満開に咲き誇る深山神社の大藤



深山神社境内の大榎（おおまか）と
 ともに、町の天然記念物
 に指定されている大藤が、
 今年も見事に咲き誇りま
 した。
 樹齢500年（推定）
 といわれる大榎に巻き付
 く4本の大藤は、樹齢3
 00年以上ともいわれて
 います。
 例年よりも少し早く
 ゴールデンウィーク中に
 満開を迎えた大藤は、大
 榎から流れ落ちる滝のよ
 うに優雅に咲き乱れ、ほ
 のかな香りを放ちながら
 訪れた人々を魅了してい
 ました。

最近では、大人気漫画
 の重要な要素として注目
 されましたが、藤は日本
 古来の花木といわれ、そ
 の見た目の華やかさから、
 高貴な花の象徴として庶
 民から貴族まで、幅広く
 親しまれてきました。
 古代の書物にも数多く
 登場し、万葉集には藤を
 詠んだ歌が27首もありま
 す。万葉集に詠まれる藤
 は、どれも「華やかに咲
 き誇る花」として登場し、
 思い出の場所や愛しいも
 のを藤の花に重ね合わせ
 て詠まれています。



また、藤はその優雅さ
 とは対照的に、野性味に
 溢れた生命力も大きな魅
 力のひとつとされています。
 藤の寿命は非常に長
 く、樹齢1000年を超
 えるものも日本には数多
 く存在します。藤は自立
 して咲くことができない
 植物のため、他の木に巻
 き付きながら、日光を求
 めてどんどん成長してい
 きます。その繁殖力の強
 さから「途絶えない花」
 として、平安時代の藤原
 氏をはじめ数々の日本人
 の姓に用いられるようにな
 りました。
 藤の花に重ねられた古
 の人々の思いや、藤の力
 強く生命力に溢れた姿に
 目を向けると、今までも
 は違った藤の魅力を再発
 見できるかもしれません。